

すこやかネット・まつばら

教育コミュニティのエンパワメントをめざして

松原市地域教育協議会

松原市地域教育協議会では、松原市PTA協議会との共催で、“防犯教室”を開催しました。また、“松原市中学校生徒会交流会”を開催し、生徒会活動を応援しています。各中学校で実施している“職場体験学習”の支援にも取り組んでいます。

毎年2月には松原市地域教育協議会研修会を行い、各中学校区での取り組みを交流し、発展させてきました。

このような取り組みを通じて、地域の子もどうし、子どもと大人、大人どうしが交流し合い、「顔と名前の一致する人間関係」を育む教育コミュニティづくりを推進し、学校教育活動への支援・協力を行っています。



平成25年度松原市地域教育協議会研修会



第14回松原市中学校生徒会交流会

5つのネットワーク

- ① 体験活動のネットワーク
- ② 職場体験学習のネットワーク
- ③ 大人と子どものネットワーク
- ④ ボランティア活動のネットワーク
- ⑤ 子ども同士のネットワーク



学校支援地域本部事業

文部科学省・大阪府補助事業
～教育コミュニティづくりの拡大・発展～





松原中学校区地域教育協議会

校区の標語を募集し、横断幕に*

本年度は、「校区の連携した教育協働研究推進事業」の一環として、子どもたちの学力向上や心と体の健全な成長をより進めていくための生活環境づくりを目的に、園児・児童・生徒・保護者から生活習慣の改善に関する啓発標語を地域協主催で校区の幼・小・中と保護者より広く募集しました。

応募された標語を地域協役員会で選考した結果、優秀作品5点の中から最優秀作品に松原西小学校の児童の作品『やさしさは ことばにすれば つたわるよ』が選ばれました。優秀作品の5点は第17回校区分 Festa「心のふれあい秋まつり」で表彰され、現在、校区の4校2園で最優秀作品の横断幕が掲げられています。



地域とのつながりの中の“あいさつ運動”

例年、校区の幼稚園・小・中学校では各校独自のあいさつ運動を実施していましたが、本年度は校区連携の取り組みの一環として、校種を超えていっしょにあいさつ運動に取り組むことを確認し、10月には松原中学校の生徒会が校区の3小学校に分かれて朝の15分間小学校の子どもたちと共にあいさつ運動をしました。また、それぞれの学校には地域の民生委員・児童委員をはじめ、保護司・更生保護女性会やその他各種団体の方々にも参加していただき、校区全体としての活性化も図られました。



PTA・地域協「夜の集い」*

10月24日(木)に松原中学校PTA・地域協主催の「夜の集い」が開催されました。本年度は『親をまなぶ・親をつたえる』をテーマに、大阪府教育委員会地域教育振興課より講師の先生をお迎えし、グループ活動を通して思春期の子どもを持つ親の悩みや不安を分かち合い、有意義な時間を過ごすことができました。



松原第二中学校区地域教育協議会

いきいきふれあい祭

11月17日(日)に第18回いきいきふれあい祭が開催されました。今年は好天に恵まれ、3年ぶりの晴天バージョンで行うことができました。今年もボランティアスタッフの児童・生徒が自転車整理やゴミの分別、片付け等で大活躍してくれました。地域の方々から「本当に中学生や小学生ががんばってくれた。」とお褒めの言葉をいただきました。

舞台では青空の下、多くの団体による熱い演技が繰り広げられ、喝采を浴びていました。模擬店にもたくさんの地域の方にお越しいただき、大変盛り上がった一日になりました。参加して下さった団体の皆さん、地域の方々本当にありがとうございました！



陶芸教室



地域協主催の文化的行事として、年2回行っています。今年は1回目を6月29日(土)に天美南小学校で、2回目を7月13日(土)に天美北小学校で実施しました。両小学校やあまみが丘幼稚園の子どもたちが親子でたくさん参加し、カップやお皿など作品づくりに熱心に取り組むことができました。



天北チャレンジ

昨年度から体験的な内容の取り組みを「チャレンジ」と改名して取り組んでいます。今年度は、5月26日(日)に天美北小学校を会場に実施しました。スポーツ体験や物作り・ヒップホップダンス等、盛りだくさんの内容で、子どもたちも楽しんでくれていました。



松原第三中学校区地域教育協議会

ヒューマンタウンフェスティバル*

「東日本大震災に対する特産品販売による支援活動」



幼稚園5歳児による合同演技



生徒会・児童会の物品販売



舞台上で「ボランティア宣言」を発表

松原第三中学校区では、三中校区地域教育協議会主催で11月2日(土)に三中校区ヒューマンタウンフェスティバル(HTF)が開催されました。今年で18回目を迎え、学校・PTA・地域の団体が約1500名参加しました。

東日本大震災から「今の私を一生懸命に生きる」「人とのつながりを大切にする」「災害のことをもっと知る」「今ある当たり前前のごことに感謝する」という事を改めて考え、次のテーマで取り組みました。『つなげよう! HOTな私たちの絆』

オープニングでは、三中生徒会、布忍小児童会、中央小児童会で作った「ボランティア宣言」の発表と宮城県の鳴瀬未来中学校生徒会からのメッセージ「私たちが復興のエンジンとなる」を送っていただき、全体でも紹介されました。また、布忍幼稚園と中央幼稚園の園児が合同の演技をみんなの前で披露しました。

生徒会、児童会では募金とともに被災地支援のために宮城県と岩手県の物産品(ロールケーキやマスカットジュース等、約5万円)を販売しました。商品はあっという間に売れてしまいました。たくさんの地域の皆さんが協力・支援してくださいました。



「地域で子どもを守る」取り組み

校区であいさつ運動や安全見守り隊による「地域で子どもを守る」取り組み

各校区のPTAや子ども安全見守り隊の皆さんによる朝の挨拶運動や布忍神社祭礼巡視・校区巡視を行っています。三中校区地域協の学校支援のテーマである「地域の子どものを守る」活動の一つでもあります。



クリーンキャンペーン*

「地域で共に汗を流す」取り組み

9月7日(土)にクリーンキャンペーンを行いました。三中・布忍小・中央小で500名を超えるPTA、教職員、生徒、児童、園児等が参加し、一緒に汗を流して校区をきれいにすることができました。



クリーンキャンペーンの様子

松原第四中学校区地域教育協議会

四中校区いきいき交流フェスタ



11月2日(土)晴天に恵まれて「四中校区いきいき交流フェスタ」を行いました。グラウンドでは校区の学校園(三宅幼・松原北小・三宅小・四中)や松原ひかり幼稚園・平野高校・松原高校・大阪体育大学、地域の方々が演技発表を行いました。また各団体から多くの模擬店が出店され、どこも列ができる盛況でした。体育館などでの体験活動は子どもたちにとっても人気がありました。終わりは、お楽しみ抽選会で盛り上がりました。

四中生は前日の準備、当日のちらし配り、募金活動、自転車整理等、多くの生徒がボランティアとして参加しました。

いきいき健康ウォーキング



12月15日(日)いきいき健康ウォーキングが行われました。「ふるさと再発見!!歩いてみよう自分たちの街を」をキャッチフレーズに今年で6回目を迎えました。今年は家族や友だちでグループごとに地図を見て、道案内のスタッフの誘導で松北小を出発して布忍神社までの4kmを往復しました。参加者約100人全員が元気に完歩できました。ゴール後は暖かい豚汁をふるまっていたいただいたのち、全員でビンゴゲームを楽しみました。

特色ある取り組み

～松北小～ 防災活動に取り組んで

6月1日(土)の土曜子ども体験は『防災訓練』でした。市民安全課、消防本部、消防団の皆様にもご協力いただき、放水や水消火器、心肺蘇生法などを実際に体験しました。また消防自動車や救急車の説明を聞き、実際に乗せてもらうこともできました。



～三宅小～ クリーン活動

11月9日(土)、三宅っ子アイランドの取り組みで、クリーン活動を行いました。たくさん子どもたち、保護者の方が協力していただき、公園・道路のゴミ拾い・掃除をしました。みなさんのご協力と努力で、気持ちのよい校区になりました。



松原第五中学校区地域教育協議会

いきいき環境フェスタ

11月17日(日)に第18回いきいき環境フェスタが開催されました。児童会と生徒会が小中学校で連携して、東日本大震災の募金の協力をお願いしました。今年度は天候にも恵まれ、多くの参加団体に協力いただき、昨年よりも一層の盛り上がりを見せていました。



昨年度に引き続き、今年度も、中学生スタッフが積極的に頑張ってくれました。中学生スタッフが各店舗に入って活躍したり、校舎内をまわって、ごみを拾って分別してくれたりしました。その関わりの中で、地域の大人との絆を深めていくきっかけになりました。

また、スタンプラリーの景品としてマイお箸を配布し、環境問題を考えていくきっかけにもなりました。



小中学生をあたたく見守る地域づくり

学期はじめと、6月の学校安全の日に地域協としてあいさつ運動に取り組んでいます。地域協の役員や地域の防犯協議会、PTA・教職員等が協力して、朝から学校の門で「おはようございます。」と大きな声で子どもたちにあいさつをしています。



連携事業

陶芸同好会の方々の協力のもと、夏休みの親子陶芸教室にも、地域協として取り組んでいます。



松原第六中学校区地域教育協議会

第13回「笑顔・夢・ふれあい祭」



11月17日(日)に、松原第六中学校で「笑顔・夢・ふれあい祭」が開催されました。ここ数年、前日準備から雨天が続き、「雨のふれあい祭」の印象が強かったのですが、今年は当日だけでなく、前日準備から晴天に恵まれ、逆に「晴れバージョン」が分からずに、戸惑う場面も見られました。



当日は六中吹奏楽部のオープニングでスタート、地域の皆さんおなじみの選曲と素晴らしい演奏でした。舞台では太鼓やダンス、体操の模範演技、ビンゴ大会など盛りだくさんの出し物がありました。グラウンドでは、中学生ボランティア(ゴミキャッチャーズ)や生徒会による募



金活動等、たくさん子どもたちが活躍する中、たくさんのテントに行列ができ、早々に完売するお店もありました。子どもたちをはじめ地域の方々にもたくさん参加していただき、大変盛り上がった一日になりました。

ふれあい大塚スポーツ教室

11月9日(土)に、大塚高校クラブ顧問の先生と部員の高校生の皆さんによる、松南小・松東小対象の「ふれあい大塚スポーツ教室」が、大塚高校で開催されました。

子どもたちは、自分で選んだ種目ごとに、バレーボール教室、サッカー教室、バスケットボール教室に分かれて参加し、松南小・松東小の子どもたちが各種目を通して交流しました。

高校生の皆さんの素晴らしい模範演技に驚きながら、「がんばって練習して、お兄さんやお姉さんのようになりたいです。」「来年も参加したいです。」という感想がたくさんありました。



花いっぱいプロジェクト

六中校区では、緑豊かなまちづくりを応援しています。その一つとして、松原東小学校では、大阪府の「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」に取り組み3年目になりました。プラグ苗という小さな苗を3年生が育て、地域の公園や、公民館などに5、6年生が運んでいき、地域の方々と共に植え込み作業をしました。これから春までかわいく咲いて町を華やかに彩ってくれることでしょう。





松原第七中学校区地域教育協議会

国際文化フェスタ*~夢・地域・共に生きる~



11月9日(土)第19回国際文化フェスタを開催しました。今年も、東日本大震災の被災地に送るため、生徒会が中心になり義援金を呼びかけました。

食のコーナー・あそびのコーナー・舞台発表の部の3部に分かれ、多くの方に来ていただきました。また、数多くのボランティアスタッフが参加し、地域の方と協働し、素晴らしい一日になりました。



文化交流の部



義援金呼びかけ



ボランティア

地域協子育て講座*やさしさの種を*あなたの心に*



12月7日(土)に、地域協主催の子育て講座を実施しました。第1部は「やさしさの種を あなたの心に・・・」コンサートでした。講師として、小西達也さんを招き、演奏と講演をしていただきました。自らの生き立ちを語りながら、曲とお話で、「いのち」「生き方」「家族」等の内容について語られ、参加した一人ひとりが、「自分」「大切な人」を思いながら、心に深く届く時間になりました。第2部は、七中吹奏楽部のミニコンサートでした。第1部とは異なる雰囲気、特に吹奏楽部のがんばりを感じました。また、飛び入りが参加するなど、楽しい時間でした。



校区クリーン活動(7月・9月・3月)*~*

年3回のクリーン活動を行っています。3月は、卒業式、入学式に向け、通学路や校舎周りの清掃を行います。

